



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

2007年6月11日
MR/J23/07

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

2007年国連大学グローバル・セミナー第6回東北セッション 参加者募集中

イベント： 国連大学グローバル・セミナー 第6回東北セッション
テーマ： 「自然と人間の共生～生活環境維持のための知の共有～」
日時： 2007年8月19日（日）～22日（水）
場所： 山形大学（山形市）
共催： 国際連合大学、山形大学

イベント情報：

- 国連大学グローバル・セミナーは現代社会が直面している地球規模の問題と国際連合の取り組みについての意識を高めることを目的に、大学生・大学院生と若い社会人を対象に毎年開催されている。2007年は国内7地域での開催が予定されている。
- 地球規模の環境汚染から日常生活の水や食物の安全まで、人類はまさに危機をむかえている。セミナーでは、どのようにすれば持続可能な社会を築く事ができるか、参加者が知識や意見を交換する。

公募情報：

- 国連大学グローバル・セミナー第6回東北セッションは現在参加希望者募集中。参加資格は、原則として日本の大学に在籍する学部生、大学院生、留学生。テーマに関心のある若い社会人も歓迎。
- 講義は日本語または英語で行われる為（通訳なし）、参加者は両言語での理解力が求められる。
- 応募者の中から、参加者約50名を選考。参加費用は25,000円（宿泊費、食費、資料代込。但し交通費は除く）。なお、留学生（月々134,000円以上のいかなる奨学金を受給している人を除く）は、選考により参加費が免除される。
- 当セッションは8月19日（日）午後開会。基調講演「開発か、破壊か？：人間の営みと環境の歴史」（宮城大学教授 あん・まくどなど）、「草木塔のころを求めて」（山形大学長 仙道富士郎、千歳建設会長 千歳 栄）を予定。
- 参加者は8月20、21日には「自然と人間の相互作用」「持続可能な社会へ課題」「国際社会はこれらの課題にどう対処してきたか」に関する講義に参加。更に8月21日には月山山麓の自然博物館へフィールドトリップに出かけ、この地域特有の自然植生や生態系に直に触れ、同時に東北の自然が直面する環境汚染の問題について専門家の話を聞く。8月22日にはグループ発表後、閉会式、フェアウェル・ランチを予定。
- 応募要綱、及び応募用紙はウェブサイト <http://www.unu.edu/gs/> から入手可能。問い合わせ先：国連大学グローバル・セミナー東北セッション事務局 (tel.: 03-3499-2811; fax: 03-3499-2828; e-mail: gstohoku@hq.unu.edu)
- 応募締切：2007年6月30日（土）必着。

当基調講演の取材に関する連絡先：国連大学広報部、担当：谷野（やの）（TEL:03-5467-1311、e-mail: media@unu.edu）

国際連合大学は、人間の安全保障や開発といったグローバルな課題に関する知識の普及と人材の育成を目的として1975年に設立された、本部（東京）を拠点に世界各地に研究のネットワークを持つ国連総会傘下の独立機関です。

PUBLIC ANNOUNCEMENT